

日本骨髄バンクの現状（平成 24 年 8 月末現在）

	7 月	8 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,591	3,407	416,763	553,235
患者登録者数	232	257	2,749	36,589
移植例数	116	113	-	14,603

■ 8 月の年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代 2,599 人
20 代 70,403 人
30 代 152,715 人
40 代 153,230 人
50 代 37,816 人

■ 8 月の 20 歳未満の登録者 165 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■ 8 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1,290 人、献血併行型集団登録会／1,950 人、集団登録会／77 人、その他／90 人

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」が可決成立

8 月 29 日に参議院を通過した「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」が 9 月 6 日に開催された衆議院本会議において、全会一致で可決、成立しました。この法律は議員立法によるもので、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関し、基本理念を定め、国の責務等を明らかにし、（～中略～）造血幹細胞移植の円滑かつ適正な実施に資することを目的とする」として国の責任を明確にするとともに、「移植に用いる造血幹細胞の提供において中核的な役割を果たすべき」として「造血幹細胞提供関係事業者（骨髄バンク・さい帯血バンク）」等の責任が明記されています。

なお、本法律の成立に際しましては、国会議員をはじめ関係の皆様のご尽力の賜物と、深甚なる敬意を表します。

今後も、厚生労働省のご指導の下、ドナーの安全確保に努め、法の主旨に沿った造血幹細胞移植の推進にこれまで以上に邁進してまいります。

2 骨髄バンク事業の課題を検討する「将来検討会議」の設置について

当財団では、このたび成立した「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」を踏まえ、骨髄バンク事業の将来に向けて解決すべき課題の検討を行う「将来検討会議」の設置について、9 月 6 日に開催された業務執行会議で協議を行いました。

本会議は、コーディネート期間の短縮、末梢血幹細胞移植の拡充、システム開発、ドナー登録体制の強化等の課題について、大局的な視点に立って検討を行うことが目的で、検討結果は答申書としてまとめる予定です。

3 10 月は骨髄バンク推進月間です！

今年も骨髄バンク推進月間がやってきます。10 月は全国各地で数多くのイベントが開催されるほか、各メディアでも骨髄バンクが紹介される予定です。これからイベント等の開催を企画されている支援団体の方でポスター等の広報資材をご希望の場合は、当財団の広報渉外部までご連絡ください。

4 愛媛県・四国中央市で提供ドナーへの助成制度がスタート

10 月より愛媛県四国中央市において骨髄及び末梢血幹細胞を提供されたドナーのための助成制度が



導入されます。これは、ドナーとドナーが従事する事業所を対象に「骨髄及び末梢血幹細胞提供ドナーには提供 1 回につき 10 万円、ドナーが従事する同市内の事業所には提供 1 回につき 5 万円支給する」というものです。先に提供ドナーへの助成制度を導入している新潟県加茂市、島根県浜田市、益田市に次ぐ全国で 4 例目の事例で、今後、各市町村に拡大されていくことを期待します。

5 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は 37 施設です。新規認定施設については、当財団ホームページ＞患者さんへ＞移植認定病院およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

- | | |
|----------------|-----------|
| ・採取施設 | ・移植診療科 |
| 大阪母子保健総合医療センター | 同左 血液・腫瘍科 |

6 秋恒例の「IMAGINE9.11」今年も上演

秋恒例の「IMAGINE9.11」が今年も以下の日程で上演されます。

- 9 月 25 日(火)19 時開演、■ 9 月 26 日(水)14 時開演、19 時開演、■ 9 月 27 日(木)19 時開演、■ 9 月 28 日(金)16 時開演 ※場所はすべて野方 WIZ(西武新宿線・野方駅から徒歩 3 分)

※お問い合わせ先 IMAGINE9.11 制作実行委員会 TEL 03-5327-3353

7 「2012/13 V リーグ」開幕! ファイナルでは骨髄バンク支援イベントを開催

例年、骨髄バンクにご支援いただいている V リーグ「2012/13V リーグ」が 11 月 3 日のプレミアリーグを皮切りに今年も開幕します。ファイナルラウンドでは、骨髄バンクの募金活動及びドナー登録会のほか、チャリティーオークション等を予定しています。

8 杉内投手がドナー登録を呼びかけ～読売巨人軍 in 福島県郡山市～

8 月 30 日、福島県郡山市の開成山球場で行われた巨人対中日の試合において、読売巨人軍の杉内投手が骨髄バンクへのドナー登録を球場のオーロラビジョンの映像で呼びかけました。杉内投手には従来からポスターの自費製作で骨髄バンクを支援していただいております。当日は、福島県立医大付属病院の患者さんやその家族 30 人が試合に招待され、杉内投手のサイン色紙がプレゼントされました。

9 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	10 月 24 日(水) 17:30～19:30 廣瀬第 1 ビル 2 階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

10

**提供された骨髄液の有核細胞や末梢血幹細胞が少なかった場合の対応（再確認）
（移植施設医師の方へ）**

PBSCTの場合は、採取された末梢血幹細胞の数が少なくとも移植すること、としています。

骨髄移植の場合も同様に、提供された骨髄液の有核細胞数が少なかったとしても移植するというのが財団の基本姿勢です。

理由：血縁におけるPBSCTの場合、CD34陽性細胞が $1 \times 10^6 / \text{kg}$ 以下の場合において生着しなかったというデータはなかったこと。また、非血縁者間骨髄移植において細胞数がいくつ以下だと移植成績が悪いという明確なデータがないこと。

11

ドナーの適格性について（男性ホルモンの投与歴、腎臓萎縮・片腎等）

非血縁ドナーの適格性についてドナー安全委員会において検討され、新たに次の2項目が追加されました。

① 男性ホルモンの投与歴があるドナーの適格性について

男性ホルモンは、造血の促進作用もあり、何らかのトラブルを起こす可能性が考えられ、造血に与える影響が不確かな部分があることから『D：不適格』（ドナー登録は取消）とされました。

② 腎臓萎縮を指摘されている場合や片腎であるドナーの適格性について

現在の適格性判定基準には、先天奇形（片腎あるいは腎臓萎縮）についての記載はありませんが、両腎とも正常な機能を有する健常人と比べてリスクが高いと考えられることから『D：不適格』（ドナー登録は取消）とされました。

12

専用証明書によるドナー給付の申請について（続報）

マンスリーJMDP 7月号で、プルデンシャル生命保険株式会社のドナー給付について、財団発行の専用証明書での手続きが可能になったことをお伝えしましたが、このたびジブラルタ生命のドナー給付についても、同様の証明書での申請が可能になりました。

ドナー生年月日および提供日が記載された専用の証明書となりますので、ドナーからコーディネーターにお申し出があった場合は、地区事務局経由でドナーコーディネーター部にご連絡くださいますようお願いいたします。

13

連絡事項**◆ 「平成23年度ドナーフォローアップレポート」発行について**

「平成23年度ドナーフォローアップレポート」を発行しました。調整医師、コーディネーターの皆さまに、今月号のマンスリーJMDP に同封してお送りします。